

令和5年度 学校評価 集計の結果と来年度への取り組み

たむら支援学校

今年度の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、以下の通りご報告いたします。

今回の結果を受け課題となる項目については、担当部署を中心に学校全体で改善に向けて具体的な方策を検討し、次年度の計画と実践に活かしてまいります。

【評価基準】	【回答者数】		
A とてもよくできている、とてもよくあてはまる	(小学部)保護者 44人	教員 24人	
B よくできている、よくあてはまる	(中学部)保護者 22人	教員 13人	
C あまりできていない、あまりあてはまらない	(高等部)保護者 38人	教員 23人	
D できていない、あてはまらない	《保護者 104人》 《教員60人》 《合計 164人》		

【質問1】 学校は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習指導（教科、自立活動）の充実と、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びを実現する授業づくりを行っていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	63	37	3	0	1
評価割合	60%	36%	3%	0%	1%
教員	15	44	1	0	0
評価割合	25%	73%	2%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 96%の保護者及び98%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の3%が「C」評価としており、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習指導の充実が求められていると考えます。
- ・ 今後も、個別の指導計画について保護者との共通理解を図り、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた学習指導の充実を図るとともに、児童生徒一人一人が各教科等の学びを確実に積み上げ、興味や意欲をもって学習に取り組むことができる授業づくりに努めてまいります。

【質問2】 学校は、保健体育、道徳教育、体験的な学習活動、児童生徒指導、相談支援体制の充実を図り、自己理解を促し、豊かな心と健やかな体の育成に努めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	56	43	4	0	1
評価割合	54%	41%	4%	0%	1%
教員	18	41	1	0	0
評価割合	30%	68%	2%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 95%の保護者及び98%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。
一方、保護者の4%が「C」評価としており、さらに豊かな心と健やかな体の育成が求められていると考えます。
- ・ 今後も児童生徒の実態に応じた保健体育、道徳教育、体験的な学習活動を計画的に行い、一人一人の児童生徒理解に努め、児童生徒指導と相談指導体制の充実を図ることで、豊かな心と健やかな体の育成に努めてまいります。

【質問3】 学校は、卒業後の自立と社会参加の実現につながる早期からの進路指導・キャリア教育、進路先の開拓、産業現場等における実習の充実に努めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	51	45	4	0	4
評価割合	49%	43%	4%	0%	4%
教員	22	37	1	0	0
評価割合	37%	61%	2%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 92%の保護者及び97%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。
一方、保護者の4%が「C」評価及び「分からない」となっており、日々の学習活動が卒業後の自立と社会参加に必要な力の育成につながっていることを確認しながら進めていくことが必要であると考えます。
- ・ 今後も、児童生徒の実態や年齢に応じた各学部での進路指導・キャリア教育、産業現場等における実習の充実に努めるとともに、日々の学習活動の様子や進路情報などをお伝えしていきます。

【質問4】 学校は、田村・安達地区の人的・物的資源の有効活用と、地域・保護者との連携・協働を推進し、様々な体験を通じた学習活動と交流及び共同学習の充実を図り、地域で生きる基盤づくりに努めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	48	44	5	2	5
評価割合	46%	42%	5%	2%	5%
教員	19	40	0	0	1
評価割合	32%	66%	0%	0%	2%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 88%の保護者及び98%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。
一方、保護者の5%が「C」評価、2%が「D」評価、5%が「分からない」としており、地域資

源の有効活用と地域・保護者との連携・協働の推進、地域資源に関する情報発信についてのご意見をいただきました。

- ・ 今後も、地域・保護者との連携・協働を推進し、人的・物的資源の有効活用と交流及び共同学習を計画的に行うとともに、地域資源に関する情報発信に努めてまいります。

【質問5】 学校は、田村・安達地区の特別支援教育の拠点としてセンター的機能を果たすことができる地域支援の充実と情報発信に努めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	38	55	6	1	4
評価割合	36%	53%	6%	1%	4%
教員	22	37	0	0	1
評価割合	37%	61%	0%	0%	2%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 89%の保護者及び98%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の6%が「C」評価、1%が「D」評価、4%が「分からない」としており、センター的機能について「よくわからない」というご意見も寄せられました。
- ・ 今年度も地域支援センターを中心に校内外の児童生徒の支援会議、幼保・こども園や小・中・高等学校等への相談支援及び研修支援を行ってまいりました。今後も、個別懇談や教育相談を通して本人及び保護者のニーズを聞き取り、支援の手だてや支援体制について共通理解を図りながら児童生徒一人一人の支援の充実と努めるとともに、ホームページや通信等を通じて、取り組みの様子をお伝えしていきます。

【質問6】 学校は、教職員の学習指導、生徒指導に関する専門性を向上するための研修の充実と努めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	43	49	4	0	8
評価割合	41%	47%	4%	0%	8%
教員	18	40	1	0	1
評価割合	30%	66%	2%	0%	2%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 89%の保護者及び96%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の4%が「C」評価、8%が「分からない」としており、今年度も、研修についてホームページなどで発信してきましたが、さらに具体的な情報発信が求められていると考えます。
- ・ 今後も、研修等を通してより一層の専門性の向上に努めるとともに、学校での取り組みについてホームページや通信、懇談等の様々な機会を通してお伝えしていきます。

【質問7】 学校は、不祥事を根絶する風通しのよい職場づくりと働き方改革による質の高い教育の実現に努めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	35	56	3	1	9
評価割合	33%	54%	3%	1%	9%
教員	18	37	5	0	0
評価割合	30%	62%	8%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 87%の保護者及び92%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。
一方、3%の保護者及び8%の教員が「C」評価、1%の保護者が「D」評価、9%の保護者が「分からない」としており、不祥事根絶のための職場づくりと働き方改革について、さらに具体的な情報発信が求められていると考えます。
- ・ 今後も、サービス倫理委員会を中心とした不祥事防止のための取り組みや働き方改革を計画的に進め、ホームページや通信等を通じて取り組みの様子をお伝えしてまいります。